

基本理念と基本方針について

1. 現在の基本理念と基本方針、スローガン

【基本理念】

パートナーシップで進める循環型社会の形成

【基本方針】

- 基本方針1. ごみの発生抑制、再使用の推進
- 基本方針2. 再生利用の推進
- 基本方針3. 環境負荷の低減に配慮した収集処理の推進
- 基本方針4. 市民・事業者・行政のパートナーシップによる取り組み

【スローガン】

『 始めよう！ ごみの減量 私から 1人1日 100g』

マイナス

2. 基本理念と基本方針（案）

（1）基本理念（案）

（案1）現在

パートナーシップで進める循環型社会※の形成

（案2）

ともに学び ともに取り組む 循環型のまち 川西

（案3）

人と資源を生かし、豊かなまちを未来へつなぐ

（案4）

みんなで目指す3R！ 持続可能な循環型社会

【その他キーワード】

- ・パートナーシップ、協働、連携
- ・ゼロエミッション、ごみゼロ
- ・資源の有効利用
- ・環境にやさしい、環境負荷の少ない
- ・もったいない
- ・実現する、行動する、広げる
- ・脱炭素社会
- ・ごみ減量
- ・3R+R、4R※
- ・エコ
- ・資源、リサイクル
- ・未来

※循環型社会：経済活動のなかで廃棄されていた製品や原材料などを「資源」と考え、再利用・リサイクルなどで活用し、資源を循環させる経済システム。

※3R+R：「リデュース（Reduce＝発生抑制）・リユース（Reuse＝再使用）・リサイクル（Recycle＝再生利用）」に「リニューアブル（Renewable＝再生可能資源への切り替え）」を加えた考え方。

※4R：「リデュース（Reduce＝発生抑制）・リユース（Reuse＝再使用）・リサイクル（Recycle＝再生利用）」に「リフューズ（＝ごみになるものを買わない）」や「リカバー（Recover＝回収）」、「リペア（Repair＝修理・修繕）」などを加えた考え方。

(2) 基本方針（案）

■基本方針1. 2R(ごみの発生抑制、再使用)の徹底

ごみを今以上に減らすためには、「2R（発生抑制：リデュース、再使用：リユース）を優先して取り組む」という基本に立ち返り、徹底して取り組む必要があります。

<主な施策>

- ・ごみの減量、再使用促進に向けた各施策
- ・食品ロス、プラスチック類の削減
- ・周知啓発(ごみの減量、再使用の推進)、環境教育の拡大

■基本方針2. 効果的な再生利用の推進

2Rを徹底した上で、再生利用：リサイクルを推進します。分別排出の周知とともに新たな資源化可能な品目を検討します。特に、プラスチックについては、「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」に基づき、環境への負荷低減に向けたリサイクル手法を検討します。

<主な施策>

- ・分別排出の周知
- ・新規リサイクル品目(製品プラ)分別への対応
- ・プラスチック類資源化方法の検討

■基本方針3. 資源循環と環境に配慮した収集処理の推進

収集等においては、環境負荷の少ない効率的な運搬を目指します。また、中間処理においても積極的な資源化と脱炭素社会へ向けた関係機関との協力連携による施設づくりを進めます。

<主な施策>

- ・効率的な収集の検討
- ・資源循環と脱炭素社会に対応できる施設づくり

■基本方針4. 市民・事業者・行政のパートナーシップによる取り組み

市民や事業者、NPO 団体等と連携し、さらなるごみの減量や分別の徹底に取り組めます。

<主な施策>

- ・各主体との連携
- ・ごみ減量チャレンジ・モニターの実施

■基本方針5. 安全で安定した廃棄物処理体制の構築

大きく変化する社会情勢に対応できる廃棄物処理体制を目指し、必要な仕組みづくりや対応策の導入の検討を進めます。

<主な施策>

- ・猪名川上流広域ごみ処理施設組合との協力連携
- ・少子高齢化社会への対応
- ・災害時の対応
- ・有料化の検討
- ・会計基準導入の検討